



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN  
WEEKLY REPORT

設立 昭和63年(1988)5月23日  
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階  
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010  
WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp  
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111  
会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1447回 例会 2022年(令和4年)3月7日

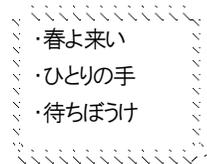
(水と衛生月間)

<b>本日のプログラム</b> ○ ロ-タリ-ソング「君が代」「四つのテスト」 ○ 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告 ○ 3月お誕生月会員お祝い ○ 卓話「黄色いポスト」 大嶋 捷正 会員 ○ クラブ協議会(中間) 4階「白鳥の間」 13:40~15:40	(本日のプログレス 片岡 清夫 副SAA)
--	-----------------------

前回(2月28日)例会記録

◇プログレス 平山 明彦 SAA

1. 来客紹介 竹内 弘 親睦委員  
ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:1名 合計:1名



2. 会長の時間 宮原 彰 会長



皆様こんにちは、今日で二月が終了します。  
そして明日からは弥生三月です。春の始まりです。春は新しい良いことや楽しいことが始まるイメージが湧いてきます。その、春の始まりの前にロシアがウクライナへ武力で侵攻したために、世界中が混乱しております。  
人生100年時代と言われる時に、なぜ皆さん仲良く出来ないのでしょうか。  
国際間の緊張がこれ以上混乱することの無いように願いたいところです。  
わたしごとですが、偶然にもこんな事が起こり、驚愕しております。  
弊社は3年ぐらい前、新型コロナが発生する以前から、某照明機器メーカーと共同で蛍光体の開発を行って参りました。これからの生産に当たり、両社間で秘密保持の契約を締結することになり、その調印日が、2022年2月22日は2が六つ、入る珍しい日でありました。  
どのくらい“まれ”かと言いますと1222年2月22日以来、800年ぶりというほど。

1222年は、鎌倉幕府が源頼朝により開かれた後、武家政治が確立された頃になります。

世界に目を向ければ、チンギス・ハーンがモンゴル帝国を拡大させ、アフガニスタンに侵攻した頃。

その後も西への征服を続け、西欧諸国にも脅威を与えた時代だった現代の世界もまた大きな変化の予兆を示しております。

ロシアによるウクライナへの武力攻撃が始まり、東アジアにも飛び火する事態となれば、世界を巻き込んだ危機が到来することになります。次に2並びになるのは、200年後の2222年2月22日。七つも2が続く、果たして200年後の人類は、今日の2022年をどのような歴史として記憶することになるのでしょうか。

新たな軍事紛争の勃発などではなく、人類がパンデミックを克服した年であったと記録して欲しいものです。

更に驚いたことに夜のテレビで2022年2月22日は「スーパー猫の日」として放映されておりました。放映によりまずと元々「猫の日」と、いう日があり、その始まりは一般社団法人ペットフード協会が1887年に「猫と一緒に暮らせる幸せに感謝し、猫とともに、この喜びをかみしめる記念日」という想いで制定されたそうです。何故2月22日になったのかと言いますと、ニャンニャンニャンの語呂合わせからきたそうです。

そして今年には2022年2月22日と言う事で「2」が6回も連なる「スーパー猫の日」と言われています。そう考えると2222年2月22日が最もスーパーな気もしますが、これからさらに、200年後の話なので、今年には近年の「猫の日」の中で、とてもスーパーな年と言えますね。今日は2022年2月22日に因んで話しをさせていただきました。

有難うございました。

### 3. ニコニコ報告 岡本 真太郎 親睦委員

塩尻 会員……本日卓話よろしくお願ひ致します。

岩崎 会員……山川さん、藤井さん、原山さん、動画撮影ありがとうございました。

中西 会員……コロナ禍が長引く中、片岡様より再び大量のお持ち帰り「ふぐ」を応援いただき、心よりお礼申し上げます。  
ありがとうございました。

中井、天野、竹内、清水、新川、澤田、中嶋、小島、山川、野田、平山、片岡、小山、井澤、岡本(真)、洪、藤井、俣野、坂本、甚田、岡野、沖、中村、宮原、伊藤、吉本、北野、林、

各会員……明日から3月 春の訪れを感じる気候となってきました

### 4. 出席報告 平山 明彦 SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 36名 出席会員数 33名(内 ZOOM1名参加) 出席率 92%

第1444回(2月7日) 修正出席率 97%

### 5. 国際奉仕バズセッション 国際奉仕委員会 塩尻 明夫 委員



今年度米山委員長の塩尻ですが、国際委員会の卓話の時間を頂いてお話をさせていただきます。ロータリークラブのグローバル補助金は、地区補助金と同様、RI から活動資金の補助が出る仕組みは同じなのですが、最低でも3万ドルのプロジェクトと、地区補助金より大幅に規模の大きな活動が対象になります。また、ロータリーの重点項目(最近6から7項目に増えました)に合致した活動であることも重要です。私たちは一度、姉妹クラブであるシンガポールロータリークラブのグローバル補助金プロジェクトに参加しています。

その関係もあり、先方からは「ぜひ船場もグローバル補助金プロジェクトをやって欲しい。

そうなれば参加はもちろん、協力は惜しまない」とずっと言われています。

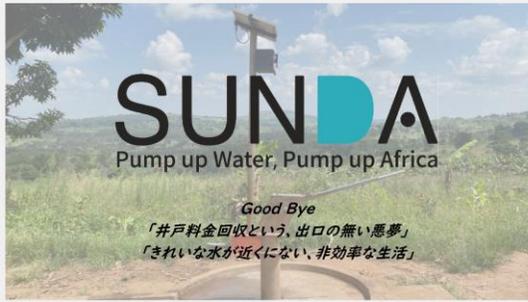
さてそんな大きなプロジェクトはなかなか見つけにくいのですが、たまたま合致するような活動を見つけてきました。

それが SUND(スンド)の坪井さんが行っておられる「井戸の管理システム」です。

以前クラブで井戸を提供するプロジェクトが行われたと聞いていますが、これは井戸を与えるのではありません。

井戸は定期的に適切なメンテナンスをしなければ維持できないのですが、このメンテナンスの為の費用を集める仕組みとなります。

では坪井さん、自己紹介とプロジェクトのご説明をお願いします。



## 自己紹介

SUNDA

### 坪井彰 (株式会社Sunda Technology Global 代表)



2011	京都大学大学院 気象学専攻 ・バングラデシュ成航 (2 回航) ・インド軍にて大気海洋観測 (1 カ月間)	・初海外成航 (バングラ) ・海外に興味を持つ
2013	パナソニックのIT部門に入社 ・データ分析コンシェルジュとして業務に携わる ・ワークジョブに参加し、株式会社Sunda Technologyに転職	・遠くまでビジネスに興味を持つ ・英語に行く必要を感じ始める
2018	青年海外協力隊としてウガンダ滞航 (1 年間)	SUNDA 考案
2019	南アフリカ・ドバイに駐在	
2021	アントレプレナー大賞受賞 日本に帰任 パナソニック退職	SUNDA 本格始動



## ウガンダの紹介

SUNDA



## 社会的インパクト

SUNDA

サブサハラアフリカ農村部  
安全な水へのアクセスが限定的な人  
**3 億人**

ウガンダ農村部  
安全な水へのアクセスが限定的な人  
**1800万人**

出典: UNICEF 水と衛生データ (www.unicef.org/wah)



5歳未満の子どもの死亡率  
サブサハラアフリカは日本の39倍

不清潔な水による下痢が主な要因の一つ

水汲みは女性と子どもの仕事  
・収入向上のため活動時間が減る  
・子どもの勉強の時間が減る

レイプのリスク  
・野生動物や蛇に襲われるリスク

## ソリューション

SUNDA

### 従来

「月額定額」、「現金」を用いた「人手による」井戸料金回収

### SUNDA

「従量課金型」「モバイルマネー」を用いた「自動」井戸料金回収

## ソリューション

SUNDA



**SUNDAシステム概要** SUNDA

**SUNDAユニット** 携帯電話でシステムを制御運用

IDタグ挿入 [Tag Reader] [ID Indicator]

入庫されたIDタグ IDタグが挿入されたIDタグ

ゲートが開き、水が流れる状態 ゲートがロックされ、水が流れることができません

水漏れが検出された場合、自動的に水が供給停止します

**水代の支払い**

モバイルマネーで水料金を払う \*217\*288# 25sh/20L

IDタグ 消費量に1.20L IDタグ

**タッチポイント**

水利用、支払い情報がすべてタッチポイントで閲覧可能

**創業者メンバー** SUNDA

*Made with Japan with Uganda for Uganda*

**坪井彩** (Japan)

バイオニック社代表取締役社長、設立、経営の機会を捉え、2015年に創業。創業メンバーとして創業。マーケティングの経験から、2018年にウガンダに1年間の海外勤務として活動。スタートアップ経営、デバイス開発を経験。

**Samson Kasazi** (Uganda)

エンジニアリングの経験があり、卒業後から2017年以上、企業加工や電子部品技術を用いたモジュールを開発。自身の経験を基に、現在は起業家として活動。2018年ウガンダチャンゼボ大学で修士号を取得。

**Saebina Abdulsalam** (Uganda)

投資家、企業関係者に技術的アドバイス、投資サービスを提供する会社にて、投資の経験として4年活動。また、起業家から個人に投資し、情報提供、メンタリングサービスを提供。2018年ウガンダチャンゼボ大学で修士号を取得。

**田中佳樹** (Japan)

京都大学エネルギー科学研究科修士後2018年より、バイオニックにて企業家プロジェクトの開発を支援。一方、自身の経験による付帯活動等に協力。世界中にインパクトを与えたいという思いの強さ、活動している。

**世界手洗いの日のイベントに参加** SUNDA

水環境省大臣、ブワンダ共和国の副代表などが参加するイベントにて、SUNDAのデモを実施。テレビ放映もされた。ブワンダ共和国の副代表からは直接のコンタクトもあり。

**水環境省の認識** SUNDA

・IICAウガンダ次長、ウガンダ水環境省(PS 事務次官)が出席する会議にて、今後の地方給水O&Mの方針として、SUNDAシステムの活用が確認された

※次ページに議事録

IICA Uganda is supporting @min\_waterlg to improve functionality of rural water supply facilities & ensure a reliable & sustainable water supply infrastructure mechanisms for rural water supplies. @hordevinda @okubisi @govuganda @ica\_direct @ica\_direct\_en

The meeting was presided by PS @min\_waterlg and attended by representatives from the beneficiary District local government and Ms. Aya Tsuboi of the SUNDA innovative solution for boreholes.

Ms. Aya demonstrated to the group the operation of @SUNDA: pay as you fetch system.

坪井さん、ありがとうございました。  
シンガポールロータリーを訪問された時にお会いした、シャフルさんやモハンさんといった主要メンバーがアプリカとのつながりも強く、このプロジェクトが進むなら強く支援するともいわれています。是非、グローバル補助金プロジェクトとして進めることが出来るようよろしくお願い致します。

**【2022-23 年度 国際ロータリー(RI)会長、テーマ】**

**次年度 RI 会長**  
**ジェニファー・E. ジョーンズ氏**  
Windsor-Roseland ロータリークラブ所属  
カナダ、オンタリオ州



ウインザーにある Medea Street Productions Inc. 創業者兼社長。  
ウインザー大学の理事長、ウインザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、法学の博士号を有しています。  
1997年にロータリークラブ入会。RI 副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任。現在は、ポリオ根絶活動のために1億5000万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now: 歴史を創るカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務める。

☆次週3月14日(月)例会予定  
・卓話: 藤井会員  
・理事会 31「カトリア」13:40~14:40